

【各委員からの評価と講評】

- うまく支援できたモデルケースなど支援実績をまとめ、利用者の声などを掲載したわかりやすい成果報告書を作成し HP などで公開、PR につなげてはどうか。
- 支援先がどう発展したかが重要。支援先から売上状況などのアンケートを実施し、効果を見るべき。
- 春日井商工会議所は、積極的に事業推進している。
- PDCA の実施。次年度へのアクションなどを明確にする。
- ビジネスフォーラムで、成果が出ている事業所の発表の場を設けてはどうか。
- 伴走型支援事業や金融機関との連携、ビジネスマッチング事業は実施できている。経済動向については、調査はできているが活用できていない。
- 職員の資質向上の一環として、報告会を実施すべき。職員の意識も高まる。
- メルマガは一方的な情報発信で、読んでもらえない可能性もある。見せ方を工夫すること。また、SNS での情報発信をすべき。
- キャリア育成事業は現在中学校・高等学校で実施しているが、中部大学のキャリアセンターと協力し、大学でも実施したらどうか。春日井の事業所を知ってもらういい機会であるし、就職にもつながる。
- 春日井商工会議所の職員研修会の講師を務めた。若い経営指導員が多く活気があるが、経験不足である。今後専門家に繋ぐ技術、情報を捌く力、最善できる力を身に付けてほしい。またたくさんの課題の中から主要課題を選択する目を養ってほしい。
- 職員の得意分野、強み、力量などを“見える化”するとわかりやすい。

【今後の改善点】

- 成功事例や支援実績を SNS やマスコミを活用し積極的に情報発信し、利用につなげたい。
- 役員議員や職員向けの支援報告会を実施し、情報共有や職員の資質向上に努める。
- 創業者の支援は創業後のフォローを重点的に行う。